

令和8年3月19日

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第2部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	こどもたちが地域のことを考えるきっかけづくり
事業目的・概要	地域の担い手不足を課題と捉え、こどもたちが地域のことを考えるきっかけをつくることを目的として、中学生を対象に、対話型授業を通じて、地域活動の現状や地域課題を知ってもらい、こどもたちが主体的に地域の課題や今後の地域のあり方などについて考える機会を創出する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【令和7年度実施事項】</p> <p>○6月～8月 ・部会で取り組む課題の整理、地域課題の分類を行い、部会活動の方向性を検討</p> <p>○9月～10月 ・すべての分野に共通する「担い手不足」を課題と捉え、学生参画型取組の内容検討、情報収集</p> <p>○11月 ・高志中等教育学校の地域教育コーディネーターを招き、地域と学校で連携して取り組んでいる事例を紹介してもらい、意見交換を実施</p> <p>・委員のネットワーク等を通じて中学校への個別提案を開始</p> <p>○12月 ・対話型授業の2段階構成案(現在の地域活動理解 → 今後のあり方検討)を確認し、複数校への提案準備</p> <p>○1月 ・授業テーマ案の検討(自治会、防災、地域行事、消防団、民生委員)</p> <p>○2月 ・中央区教育支援センターと連携し、中央区全中学校に授業内容の提案を実施</p>
事業の評価 地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など	<p>○第2部会は、地域コミュニティ協議会からの選出者のほか、社会福祉協議会、公募委員などから構成され、「協働／子育て・教育／健康・福祉／防災・防犯／生活環境」を所管分野としている。</p> <p>○所管分野が多岐にわたることから、まず地域課題の整理・分類を行い、「地域の担い手不足」を各分野に共通する課題として位置づけ、これからの地域の担い手となるこどもたちをターゲットに「こどもたちが地域のことを考えるきっかけをつくる」ことを事業目的として設定した。これを踏まえ、こどもたちが主体的に考える取組の方向性を明確化することができた。</p> <p>○授業案の具体化や生徒参加型手法を検討することで、地域活動への関心を高める取組の土台が整えられた。</p> <p>○学校との連携可能性の協議を進める中で、学校のニーズを把握し、各学校や生徒に応じたテーマ選択ができるよう柔軟な授業計画を調整し、授業実施の具体性と実現可能性を高めた。</p> <p>○次年度の授業実施に向け、学校の選定や日程調整及び人員確保、授業内容の精査等を進めていく。</p>
備考	